

人文（社会・医学）ご担当者様

書店様出荷開始 **2019年12月2日**(月)予定

「『人間とは何か』を長い期間をかけて探求してきた、おもに哲学や文学、文化人類学や芸術などの人文系の学問は、看護学においてある総合的な地平に到達することができる」

「いつの頃からか分岐してしまった文系科目と理系科目は、まず、看護の分野において統合される」

看護の課題について、医学や医療の側からだけではなく、**文学や哲学**、そして**民俗学や文化人類学**の側から考え、処方をしめした、**超看護**という新しい方法についての提案。

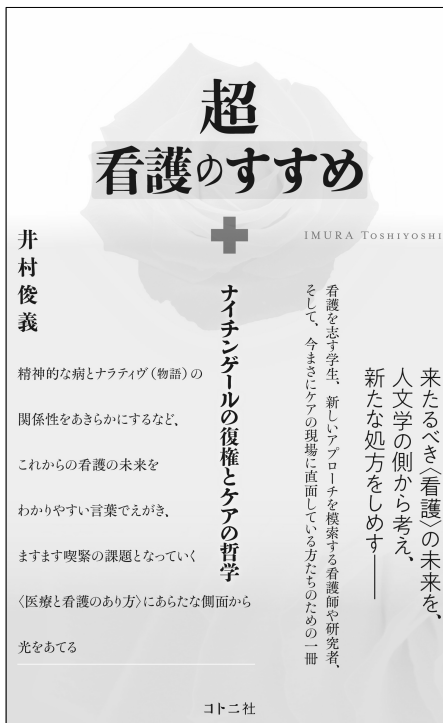
これからの看護の未来をわかりやすい言葉で描き、ますます喫緊の課題となっていく**医療と看護のあり方**に新しい側面から光をあてる。

看護学生、新しいアプローチを模索する**看護師**や**研究者**、そして今まさに看護の現場で悩む**一般の方**のための一冊。

【著者略歴】

井村俊義（長野県看護大学准教授）

1964年、長野県諏訪市生まれ。名古屋大学大学院国際言語文化研究科博士課程満期退学。主な著書に、『チカーノとは何か——境界線の詩学』（水声社、2019）、『エスニシティと物語り——複眼的文学論』（共著、金星堂、2019）、主な訳書に、マイケル・タウシグ『模倣と他者性——感覚における特有の歴史』（水声社、2018）など。



【目次】

まえがき

I 「超看護」の論点

- 第1章 「看護の詩学」とナイチンゲール
- 第2章 「看護の脱構築」試論
- 第3章 「アメリカの看護」という遺産
- 第4章 「死」は恐ろしいことなのか？
- 第5章 「前近代」から学べるもの

II 「超看護」の感性

- 第6章 「地理的身体論」序説
- 第7章 「闇」が教えてくれる世界

III 「超看護」の広がり

- 第8章 「里山看護」について
- 第9章 「信州伊那谷」から考える

あとがき

超看護のすすめ

ナイチンゲールの復権とケアの哲学

弊社刊行物は**直接取引**でお届けいたします。物流と決済は、低正味・スピード納品で定評のある**トランスビュー**が代行します。**新規手続きは不要**です。**送料無料**です。直接取引の条件は、トランスビューの商品とすべて同じです（返品随時可）。

直取引代行
トランスビュー

貴店名	コトニ社創業 第1弾 2019.12.2 出荷予定	■書名：超看護のすすめ ——ナイチンゲールの復権とケアの哲学 ■著者：井村俊義 ■造本/頁数：四六判変型・並製/256ページ ■定価：本体2400円+税 ■ISBN：978-4-910108-00-1	ご注文数
	コトニ社創業 第2弾 2020.1.6 出荷予定	■書名：「家庭料理」という戦場 ——暮らしはデザインできるか？ ■著者：久保明教 ■造本/頁数：四六判変型・並製/216ページ ■定価：本体2200円+税 ■ISBN：978-4-910108-01-8	ご注文数
ご担当 様			

〒274-0824
千葉県船橋市前原東5-45-1-518
コトニ社 TEL：090-7518-8826

ご注文

FAX：0120-999-968